

【基本認識】

- 「厚生労働省改革実行チーム」としては、新型コロナウイルスや毎年発生する災害等への対応の中であっても、改革の歩みを止めないことが重要であると認識。
- 他方で、省を挙げて新型コロナウイルス感染症に対応していることも踏まえ、改革項目のアップデートや優先順位を付けたメリハリのある改革を進めていく必要。

1. 第4回改革実行チーム（概算要求後目処で開催予定）に向けて

- ① 「改革具体化タスクフォース」において、「withコロナ下での改革の進め方に関する論点整理」を行う。
- ② また、「改革具体化タスクフォース」において、省内アンケートやヒアリング等を実施・活用し、改革工程表の取組の状況把握・評価を行う。
- ③ 並行して、上記の結果も踏まえつつ、
 - ・ withコロナ下であることも踏まえた、改革事項の追加・修正
 - ・ withコロナ下において最優先で取組むべき項目の洗い出し等を行い、第4回改革実行チームの場で報告。

2. 第5回改革実行チーム（年末開催予定）に向けて

- 第4回実行チームで報告や議論のあった改革項目について、工程表に反映させるとともに、改革工程表の1年間の進捗について報告。